

町内遺跡VIII

2021年3月

宮崎県西諸県郡
高原町教育委員会

序 文

本書は高原町教育委員会が、国・県の補助金交付を受けて実施した埋蔵文化財発掘調査報告書です。

高原町は雲峰高千穂峰をいただく、神話と歴史に溢れた町です。特に「高原」という地名は、「高天原」から転化したと言われており、町内各所に神話にまつわる地名が残されています。高原町は初代天皇である神武天皇の御降誕地であり、また若年期に過ごされたという伝承をもつ場所としても名高い町であります。

高原町では各種開発に対し、埋蔵文化財の保護を目的とする試掘調査を行っており、協議における基礎資料としています。

今回の調査で得た様々な成果が、文化財行政の一資料としてだけでなく、学校教育や生涯学習の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する認識と理解の一助になることを期待しています。

最後になりましたが、この発掘調査にあたり、多大なる御理解と御協力をいただきました土地所有者の方や周辺住民の方々をはじめ、御指導・御援助をいただきました関係諸機関の方々に心から御礼を申し上げます。

令和3年3月

高原町教育委員会
教育長 西田 次良

例 言

- 1 本書は、高原町が令和2年度に国宝重要文化財保存整備費補助金及び宮崎県埋蔵文化財緊急調査補助金を受けて実施した埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 補助事業の事業主体は高原町、調査主体は高原町教育委員会である。
- 3 調査の目的は、個人住宅建設工事に伴う確認調査である。
- 4 現場における記録写真撮影及びトレンチの配置図の作成・作図、調査概要の作成は玉谷が行った。
- 5 本報告書の執筆・編集は玉谷が行った。
- 6 写真撮影については NIKON D850 で撮影を行った。
- 7 各種記録類は、高原町教育委員会で保管している。

目 次

本文目次

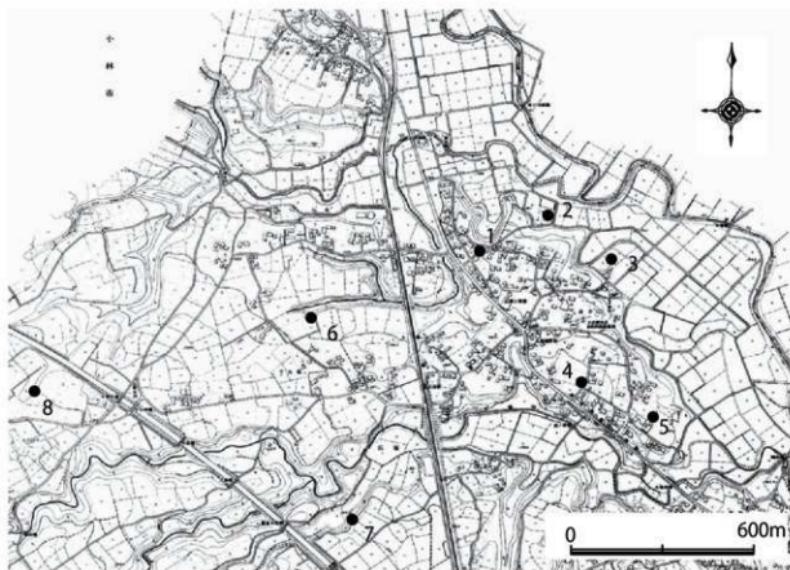
調査の方法、概要	2
----------------	---

挿図目次

第1図 遺跡分布図	1
第2図 調査区位置図	1
第3図 トレンチ配置図	2

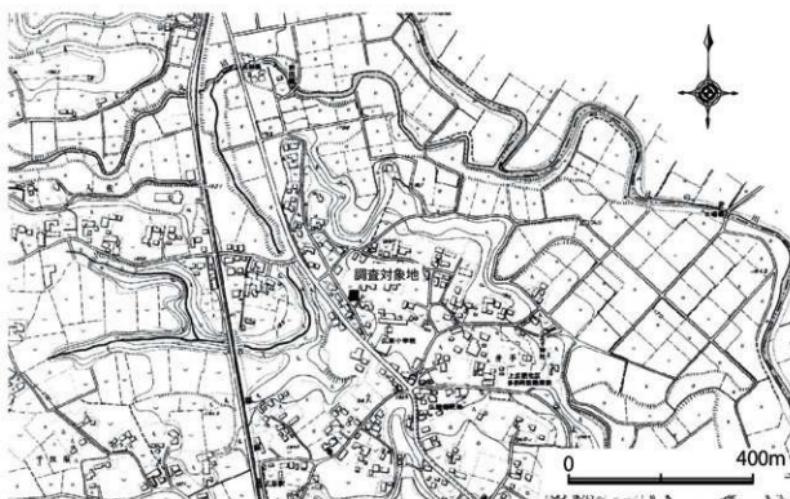
写真目次

1 調査前状況	3
2 表土除去状況	3
3 トレンチ精査状況	3
4 Tr.1 土層堆積状況 東から	3
5 Tr.2 土層堆積状況 北から	3
6 埋め戻し状況	3
7 調査終了状況	3



1 池ノ尾道路 2 宮ノ前道路 3 濁河原敷 4 丹出ノ上道路 5 東道路 6 中北道路 7 下刈田道路 8 今別道路群

第1図 遺跡位置図



第2図 調査区位置図

調査の方法、概要

所在地 高原町大字広原 1430 番地 3・4、1479 番地 2

調査面積 6 m²

調査原因 個人住宅建設

調査期間 令和3年2月5日（計1日）

調査の結果

建設予定地にトレンチを2ヶ所設定し、重機で表土を除去した後、遺構・遺物の確認作業を行った。

当該地は畠地となっており、周囲には宅地が並んでいる。現況地形は、丘陵地で南西及び北西向きに傾斜しており、丘陵地の頂部は該当地のやや東に位置している。トレンチ調査の結果、現況地形と同じく北西向きに傾斜していることが確認でき、現況地形は過去の地形を残していると推測できる。しかし当該地においては畠地であり、耕作時のトレンチャーによる擾乱を受けており、土層断面及び平面上で堆積層を確認できるのは約0.8～1m深であった。また複数回の擾乱により、縦横にトレンチャーが入っている状況であった。トレンチ内で確認できた土層は、黒色土中に黄橙色鉄石を含む層であった。そのため、1mより浅い場所については擾乱を受けているが、そこより深い場所については、遺跡が残存している可能性がある。

今回の調査では、遺物・遺構とともに確認されなかった。



第3図 トレンチ配置図



1. 調査前状況



2. 表土除去状況



3. トレンチ精査状況



4. Tr.1 土層堆積状況 東から



5. Tr.2 土層堆積状況 北から



6. 埋め戻し状況



7. 調査終了状況

報告書抄録

高原町文化財調査報告書 第24集

町内遺跡VIII

2021年3月31日

編集・発行 宮崎県高原町教育委員会

〒889-4412 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓392番地

TEL(0984)42-1484 FAX(0984)42-3969

印刷 (株)長崎印刷

西諸県郡高原町大字後川内18番地2